

## 第 11 回 日本水中スポーツ学会プログラム

日時；令和 6 年 3 月 9 日（土）13:00 受付 13:30 開始 17:00 終了

場所；日本体育大学横浜隼志台校舎 100 年記念館 1031 教室

参加費；一般 1000 円 学生 500 円

**オンライン同時配信とアーカイブ配信が可能となりました！**

参加希望者は、現地参加，オンライン参加ともに湯浅安理（ari.yuasa.finswim@gmail.com）

まで、氏名、所属、メールアドレス、電話番号を記載の上、お申し込みください。

プログラム

13:30 開会挨拶 田村宏先生（日本水中スポーツ連盟科学・技術委員長）

**学術発表** 発表 15 分 質問 5 分 座長 湯浅安理（日本水中スポーツ連盟科学・技術委員）

13:40 フィンスイマーによる水中練習前後の筋肉量

○吉田美歩，小泉和史（日本体育大学フィンスイミング部）

14:00 座間味村での水難事故における傾向と対策

○小泉沙弓，小泉和史（日本体育大学）

14:20 休憩

**シンポジウム** 各講演 20 分+質問 5 分 総合討論 60 分 司会 小泉和史先生（日本体育大学）

14:30 フィンスイミングの「今」を捉える，そして未来への提言

日本の競技力向上のために日本代表選手，指導者，研究者など異なる視点から過去，現在，そして未来について語るシンポジウム

1) 自身の競技経歴と競技環境を振り返って

○上野浩暉（Fin-D Inc. 所属，フィンスイミング日本代表）

2) フィンスイマーの痛みを減らし予防できるか - 研究結果と臨床経験からの提言 -

○湯浅安理（安理鍼灸マッサージ治療室，日本水中スポーツ連盟科学・技術委員）

3) 日本におけるフィンスイミング競技力向上のための指導者の役割と重要性

○関野義秀（Fin-D Inc.，フィンスイミングジュニア日本代表監督）

16:50 閉会挨拶 小泉和史先生（日本体育大学）